

ISSN 0915-612X

植物遺伝資源探索導入調査報告書

通卷第5卷

昭和63年4月～平成元年3月

平成元年11月発行

農業生物資源研究所編

生物研 資料元一(2)
平成 元 年 11 月

とりまとめ 生物研 遺伝資源第一部
(連絡先) 植物探索導入研究チーム
TEL 0298-38-7458

Lab. Plant Germplasm Introduction
Dept. Genetic Resources I
Nat. Inst. Agrobiol. Resources
Kannondai, Tsukuba, Ibaraki 305, Japan

植物探索収集プロフィール

1. ネパールにおける *Rhododendron* 属および *Lilium* 属遺伝資源の収集, 1988年 (P.107)



図版-1 (Plate-1)

A : ゴダワリ植物園にて (左より, ラジバンダラー博士, シャキヤ博士, 山口, ロイ氏, 小林, マーラ博士) At the Royal Botanic Garden, Godawari (left to right, Dr. Rajbhandary, Dr. Shakya, Yamaguchi Mr. Roy, Kobayashi, Dr. Malla).

B : アーボレウム・シャクナゲの林。Forest of

R. arboreum.

C : 木登りによる種子の採集。Collection of seeds by climbing. (JERLN-No. 4)

D : 杖による採集。Collection by beating with stick. (JERLN-No. 5)

E : アーボレウム・シャクナゲの果実。Seed capsule and leaf of *R. arboreum*. (JERLN-No. 5)



図版-Ⅱ (Plate-Ⅱ)

A : バルバーツム・シャクナゲの純林。Forest of *R. barbatum*.

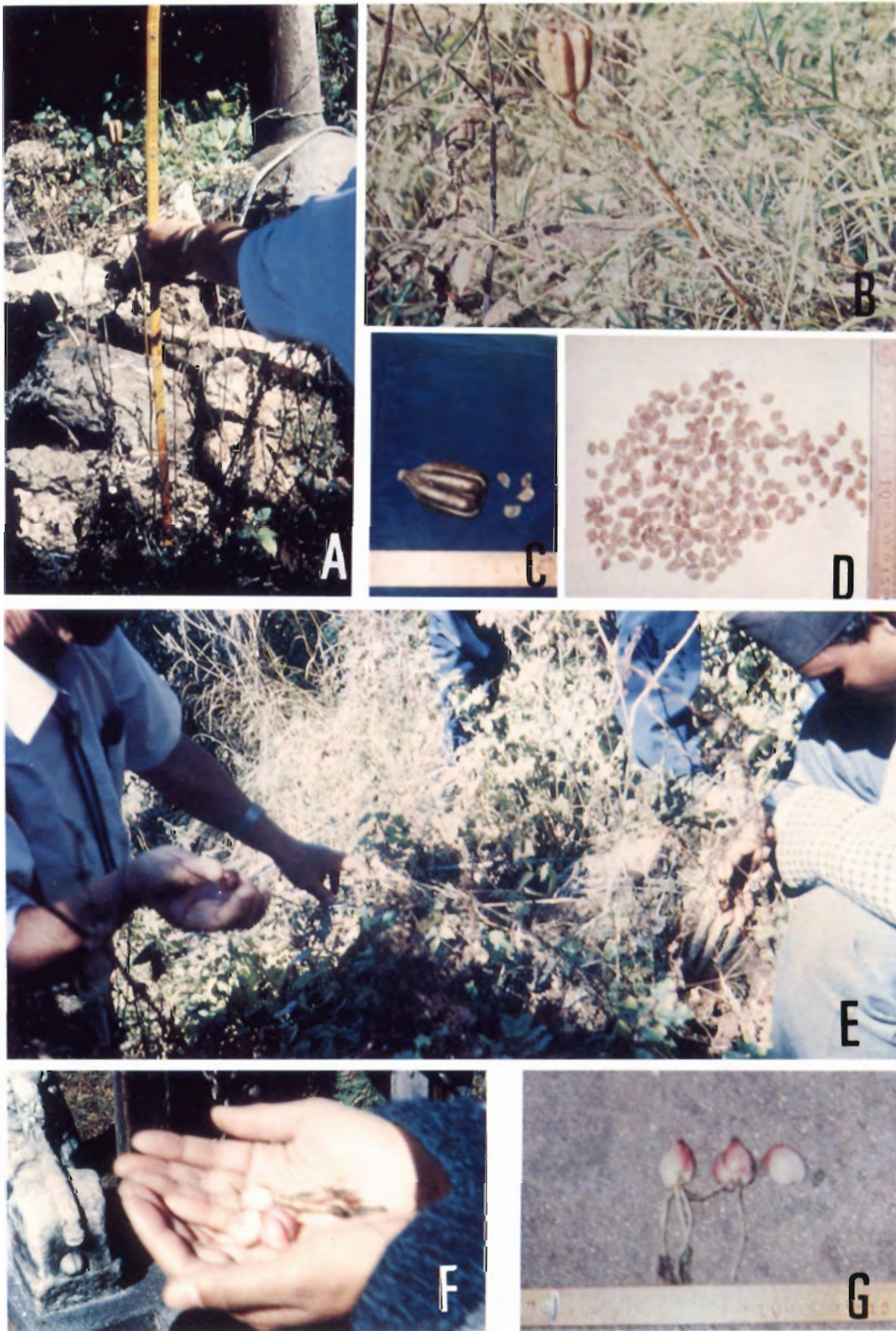
B : バルバーツムの剥がれやすい樹皮。Bark of *R. barbatum* is easy to tear off by hand.

C : バルバーツムの株元。Base of the spiny

hair on the bud and leaf petiole of *R. barbatum*. (JERLN-No. 25)

D : バルバーツムの毛深い葉柄。Hairy petiole of *R. barbatum*.

E : バルバーツムの果実。Seed capsule of *R. barbatum*. (JERLN-No. 2)



図版-III (Plate-III)

A : ネパレンセ・ユリの果実 (プルチョーキ山)。Capsule of *Lilium nepalense* at Mt. Phulchoki. (JERLN-No. 96)

B : 果実の拡大。Close up of the capsule. (JERLN-No. 96)

C : 果実の拡大。Close up of the capsule after

harvest. (JERLN-No. 96)

D : 種子。Seeds of *Lilium nepalense*.

E : 球根の掘上げ。Digging up the bulb of *Lilium nepalense*. (JERLN-No. 95)

F : 掌中の球根。The bulbs in the hands.

G : 球根の拡大。Close up of the bulbs with different scale colour. (JERLN-No. 93, 94,95)

2. インドネシア・スマトラ島における稲遺伝資源の収集調査, 1989年 (P. 153)



探索を終えて収集品の整理
(ボゴール食用作物研究所)



路上での聞き取り調査と種子の収集
(Lampung)

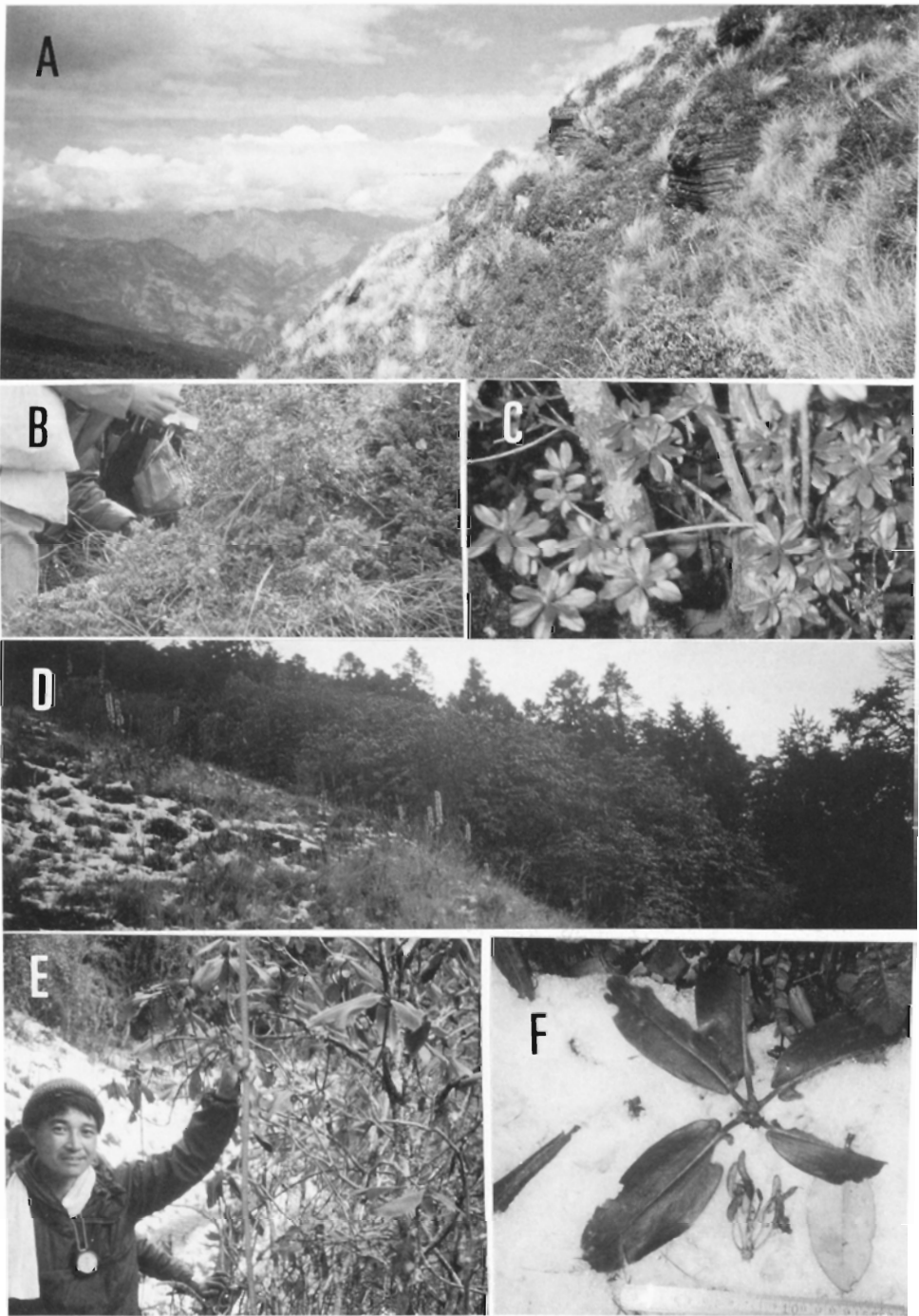


陸稲地帯にみられる長穂
(South Sumatra)

3. 関東東海地域のゴマ、エゴマの在来種収集, 農研センター, 1988年 (P. 35)



ゴマの乾燥 (埼玉県秩父郡皆野町)



図版-IV (Plate-IV)

A : レビドーツム・シャクナゲの自生地。

Habitat of *R. lepidotus*.

B : レビドーツムの種子の採集風景。Collection of the seeds of *R. lepidotus*. (JERLN-No. 30)

C : レビドーツムの樹姿。Habit of *R. lepidotus*. (JERLN-No. 30)

D : カンパニユラーツム・シャクナゲの自生地。Habitat of *R. campanulatum*.

E : カンパニユラーツム・シャクナゲの自生地。Habit of *R. campanulatum*. (JERLN-No. 49)

F : カンパニユラーツムの果実。Seed capsule of *R. campanulatum*. (JERLN-No. 49)



図版-V (Plate-V)

A : 動物による植生破壊。Destruction of natural vegetation by the grazing of livestock.

B : 村人による植生破壊。Destruction of natural vegetation by the village people to obtain

woods for furniture making and fuel.

C : 現代的な植生破壊。Indiscriminate destruction of wholly vegetation by the modern machine.

まえがき

長い年月にわたって人々の糧となり、その生活、文化を支えてきた各地域独特の作物在来品種は近代的な農業の発展とともに急速に姿を消しつつある。また、地球的規模での環境悪化が国際的な論議の対象にされるようになった。このような栽培植物、野生植物にみられる遺伝的侵食の危機を回避し、植物遺伝資源を広範囲に収集・保存・評価する事は緊急な課題である。植物遺伝資源の研究は、過去から現在にいたる作物進化の道程を明らかにし、作物育種場で積極的に有用遺伝資源の将来利用の可能性を探るという、基礎から応用に至る幅広い分野において一段と重要性を増している。

農業生物資源研究所では、昨年度センターバンク（生物遺伝資源管理施設）が稼働を開始し、今年度、イネ隔離栽培のための導入遺伝資源検定温室が新たに建設された。この施設はわが国のイネ導入事業の中心となるもので、外国産イネの導入が一層促進できる体制が整ったといえる。このように植物遺伝資源の導入・保存のハード面は充実しつつある。

今年度も、農林水産ジーンバンク事業のひとつとして、国内・国外において種々の作物の探索が行なわれ、貴重な遺伝資源が収集された。国内では、豆類、雑穀、カキ、野生ダイズ（ツルマメ）、ナスなどわが国固有の在来種、野生種の探索収集がおこなわれ、その調査報告が寄せられた。国外では、*Medicago* 属牧草（アルゼンチン）、ツツジ、ユリ（ネパール）、イネ（インドネシア）、サトウキビ、茶、桑（インド）の探索が実施され、現地研究機関の協力をうけて、大きな成果をあげることができた。とくに、国外での探索活動では、現地研究機関、研究者の協力なしには思うような収集実績をあげられない。各探索隊の活動に暖かいご支援ご協力をくださった現地の研究機関および研究者に感謝したい。

農林水産ジーンバンク事業の一環として刊行されてきた「植物遺伝資源探索導入調査報告書」も本報告書で5冊目となるが、新たに英文による表題、著者名、摘要を加え、海外からの問い合わせに対応できるものとした。

最後に、国内、国外で探索調査され、原稿を寄せられた方々に感謝するとともに、この報告書が国内外の関係者に研究資料として有効に利用されることを希望している。

平成元年11月

遺伝資源第一部長

鈴井孝仁

植物遺伝資源探索導入報告書（昭和63年度）

目 次

| | ページ | |
|--|--------------------|----|
| まえがき | 遺伝資源第一部長 鈴 井 孝 仁 i | |
| I. 国内探索収集報告 | | |
| 1. 埼玉県・長野県における | | |
| 雑豆および雑穀類在来種の探索収集，生物研，1988年…………… | 1 | |
| 生物研・遺伝資源第一部・植物探索研 | 勝 田 真 澄 中川原 捷 洋 | |
| 農林水産技術会議事務局連絡調整課 | 宮 下 進 | |
| 群馬県館林市農協 | 飯 塚 清 | |
| 2. 新潟県南部・長野県北部地方における | | |
| 豆类および雑穀の収集，生物研，1988年…………… | 11 | |
| 生物研・遺伝資源第一部・植物探索研 | 長 峰 司 河 瀬 真 琴 | |
| 新潟県農業試験場・作物科 | 佐々木 行 雄 池 主 俊 昭 | |
| 3. 福島県南会津地方における | | |
| 植物遺伝資源探索，生物研，1988年…………… | 21 | |
| 生物研・遺伝資源第一部・植物探索研 | 江 川 宜 伸 岡 三 徳 | |
| 4. 関東東海地域のゴマ，エゴマの在来種収集，農研センター，1988年…………… | | 35 |
| 農研センター・作物第一部・資源作物研 | 古明地 通 孝 中 谷 誠 | |
| 長野県農事試験場 | 堀 内 寿 郎 | |
| 埼玉県秩父農林振興センター | 半 田 勝 彦 | |

5. 沖縄県離島の在来甘しょの収集, 農研センター, 1988年…………… 47
 農研センター・作物第一部・甘しょ育種研 樽本 勲
 石川 博美
6. 中部地域の野生ダイズ (ツルマメ) の収集, 農研センター, 1988年…………… 81
 農研センター・作物第一部・豆育種 喜多村 啓介
 石本 政男
7. 国内の在来カキ樹の収集, 果樹試安芸津支場, 1988年…………… 85
 果樹試安芸津支場・育種研 山田 昌彦, 吉永 勝一
 山根 弘康, 小沢 俊治
8. 東海近畿地方のナス在来種の収集, 野菜・茶試, 1988年…………… 99
 野菜・茶試・野菜育種部・育種3研 門馬 信二
 坂田 好輝

II. 海外探索収集報告

1. ネパールにおける

- Rhododendron* 属および *Lilium* 属遺伝資源の収集, 1988年…………… 107
 野菜・茶試・久留米支場 山口 聡
 鹿児島県農試・花き部 小林 正芳
 ネパール国立ゴダワリ植物園 B. ROY
 ネパール国立薬草研究所 I. OKUDA

2. インドにおける

- 特用・栄養系作物のフィールド調査, 1988年…………… 125
 宮崎県総合農業試験場・茶業支場 上野 貞一
 千葉県蚕業センター・桑栽培研 坂橋 本昌夫
 沖縄県農業試験場・作物部 大城 良計

3. アルゼンチンにおける

- Medicago* 属遺伝資源の探索・収集, 1989年…………… 133
 愛知県農業総合試験場 稲波 進
 九州東海大学農学部 福岡 寿夫
 アルゼンチン国立農業研究所 Miguel A. ELECHOSA
 Silvia ULANOVSKY

4. インドネシア・スマトラ島における

稲遺伝資源の収集調査, 1989年..... 153

| | |
|---------------------|---------------|
| 生物研・遺伝資源第一部・植物探索導入研 | 岡 三 徳 |
| 愛知県農業総合試験場・山間技術実験農場 | 赤 間 芳 洋 |
| 北海道上川農業試験場・水稻育種科 | 菊 池 治 己 |
| ボゴール食用作物研究所・育種部 | S.KARTOWINOTO |

Ⅲ. 国内・国外遺伝資源の導入受入点数..... 193

Ⅳ. 国外遺伝資源探索収集チームの派遣実績..... 195

Annual Report on Exploration and Introduction of Plant Genetic Resources in 1988

Contents

| | Page |
|--|------|
| Preface T. SUZUI Director, Dept. of Genetic Resources I, NIAR | i |
| I. Domestic | |
| 1. Exploration and collection of food legumes and millets in Saitama and Nagano Prefectures, 1988. | 1 |
| M. KATSUTA, M. NAKAGAHRA, S. MIYASHITA and K.IIZUKA | |
| 2. Collection of legumes and millets in southern part of Niigata Prefecture and northern part of Nagano Prefecture, 1988. | 11 |
| T. NAGAMINE, M. KAWASE, Y. SASAKI and T. CHINUSHI | |
| 3. Collection of crop genetic resources in Minami-Aidzu District of Fukushima Prefecture, 1988. | 21 |
| Y. EGAWA and M. OKA | |
| 4. Collection of local varieties of <i>Sesamum indicum</i> and <i>Perilla frutescens</i> in Kanto and Tokai Districts in Japan, 1988. | 35 |
| M. KOMEICHI, M. NAKATANI, J. HORIUCHI and K. HANDA | |
| 5. Collection and inventory of local sweet potato cultivars in Okinawa Islands, 1988. | 47 |
| I. TARUMOTO and H. ISHIKAWA | |

6. Collection of the wild soybean (*Glycine soja*) around the Chyubu District in Japan, 1988. 81
K. KITAMURA and M. ISHIMOTO
7. Exploration for collecting *Diospyros kaki* Thunb. in Japan, 1988. 85
M. YAMADA, K. YOSHINAGA,
H. YAMANE and T. OZAWA
8. Collection of local varieties of eggplant in the Tokai and Kinki Districts, 1988. 99
S. MONMA and Y. SAKATA

II. Abroad

1. Joint exploration for collecting *Rhododendron* and *Lilium* in Nepal, 1988. 107
S. YAMAGUCHI, M. KOBAYASHI,
B. ROY and I. OKUDA
2. Field observation on breeding and cultivation of perennial crops in India, 1988. 125
S. UENO, M. SAKAMOTO,
and Y. OHSHIRO
3. Joint exploration for collecting *Medicago* in Argentina, 1988. 133
S. INAMI, H. FUKUOKA,
M. ELECHOSA and S. ULANOVSKY
4. Joint exploration for collecting rice varieties in Sumatra, Indonesia, 1988. 153
M. OKA, Y. AKAMA,
H. KIKUCHI and S. KARTOWINOTO

I . 国内探索収集報告
(昭和 63 年度)

I . Report of Exploration, 1988
— Domestic

Ⅱ . 海 外 探 索 収 集 報 告
(昭 和 63 年 度)

Ⅱ . Report of Exploration, 1988
— Abroad

Ⅲ. 国内・国外遺伝資源の導入受入点数

(昭和63年度)

Ⅳ. 国外遺伝資源探索収集チームの派遣実績

(昭和63年度)

植物遺伝資源探索導入調査報告書 昭和63年度

平成元年11月20日 印刷

平成元年11月30日 発行

茨城県つくば市観音台2-1-2

編集兼
発行者 農林水産省農業生物資源研究所

印刷所 茨城県下館市中館186

朝日印刷株式会社

**Annual Report on Exploration and Introduction of
Plant Genetic Resources**

Vol. 5

April 1988 — March 1989

November 1989

National Institute of Agrobiological Resources